

平成30年度(2018)

公益財団法人 出雲市芸術文化振興財団

事業報告

目 次

I 概況	1
II 公益目的事業	2
1. 芸術文化振興事業	2
(1) 出雲総合芸術文化祭事業	2
(2) 出雲芸術アカデミー事業	7
(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務	10
2. 博物館事業（出雲文化伝承館、平田本陣記念館）	11
(1) 展示事業	12
(2) 出雲和文化交流会事業	16
(3) 郷土資料調査活用事業	17
(4) 呈茶事業	17
(5) 文化財保存公開事業	17
(6) その他 共催事業等	20
3. 貸館事業	21
(1) 概況	21
(2) 出雲市民会館	22
(3) ビッグハート出雲	22
(4) 平田文化館	23
(5) 大社文化プレイスうらら館	24
(6) 出雲文化伝承館	24
(7) 平田本陣記念館	27
(8) 貸館事業資料(館別)	29
III 収益事業	34
1. 貸館事業	34
2. その他事業	34
(1) 物販事業	34
(2) 大社図書館管理事業	34
IV 理事会及び評議員会の開催状況	35
V 組織図	38

平成 30 年度 (2018) 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告

I 概況

出雲市芸術文化振興財団は、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人となって以来 6 年目に入り、芸術文化の振興を目的として公益事業の推進に一層取り組むとともに、法人改革の狙いの一つである「民による公益の増進」を根底に据え、芸術文化振興事業や、博物館事業において、また、文化施設の貸館事業においてそれぞれ着実にその成果を残してきました。

芸術文化振興事業において、第 24 回を迎えた出雲総合芸術文化祭事業では、「高嶋ちさ子 12 人のヴァイオリニスト」「平原綾香ライブ With 平原まこと」など多彩な事業を展開する一方、出雲芸術アカデミーでは、文化庁が推進する「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の助成を活用し、芸術文化活動を担い支える人材の育成や、子どもから大人まで多くの市民に楽しんでもいただけるよう事業の充実を図るなど、「音楽のまち出雲」の一翼を担ってまいりました。「出雲の春音楽祭」では、昨年に引き続き 2 週にわたってオペラハイライト、連作交響神楽などの管弦楽、邦楽合奏を楽しんでもいただくなど、出雲ならではのオリジナルな音楽祭を開催したところであります。

また、博物館事業においては、出雲文化伝承館、平田本陣記念館それぞれの持ち味とスケールメリットを活かし、連携した企画展示などを行い、そのうち出雲文化伝承館では、松平不昧公没後 200 年にあたり「松平不昧」展を、平田本陣記念館では開館 30 周年記念事業として「平田本陣」展を開催し、事業の充実を努めてまいりました。

他方、施設管理業務においては、指定管理者として出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館など 4 つのホール系施設、出雲文化伝承館、平田本陣記念館など 2 つの展示系施設合わせて 6 施設の管理とともに大社図書館の施設管理を別途受託し、出雲市の文化施設及び教育施設を管理運営してまいりました。

当財団では、市における平成 27 年 10 月の条例改正に伴う使用料改定後、平成 28 年 4 月 1 日から各施設毎に施設管理規程（管理マニュアル）を定め、利用料の減免が受けられる場合など具体的に当財団のホームページに掲載し利用者の利便性向上に努めているところであります。

当財団は、引き続き出雲市における芸術文化の振興、発展に貢献する公益事業を展開するとともに、事業と施設が一体となり、また、それぞれの地域のニーズに柔軟に応え、地域の文化力向上に努めてまいります。

Ⅱ 公益目的事業

1. 芸術文化振興事業

(1) 出雲総合芸術文化祭事業

出雲市芸術文化振興指針（第2次）を基本としたうえで、「本物志向と住民参加」をテーマとする出雲総合芸術文化祭事業は、優れた芸術作品や芸術家を招致する鑑賞事業及び実行委員会が主体となった自主事業等に幅広く取り組みました。

鑑賞事業のうち、次世代鑑賞者育成事業では、Eテレ等に出演した山口とも氏が率い、ペットボトル等の廃品を楽器として使う、観客参加型のパフォーマンス「ティコボのガラクタ音楽祭」、そして、心温まるファミリーミュージカルである、イツフォーリーズによる「ボクたちのうた 手のひらを太陽に」の公演を行いました。良質のステージは、若い世代の鑑賞能力の向上及び芸術文化の担い手の育成につながったものと考えています。

また、会場は財団施設以外でしたが、共催事業である、NHK番組「にほんごであそぼ」の「スペシャルコンサート in 出雲」の公開収録では、日本文化を再認識することを目的として、伝統芸能の演者たちが一堂に会するなど、親子三代で楽しめる華やかな内容となっていました。

音楽ジャンルでは、知名度抜群である「高嶋ちさ子 12 人のヴァイオリニスト」による華やかなヴァイオリンの世界は好評を博し、チケットも完売となりました。また、NHK公開番組「新 BS 日本のうた」では、NHKならではの豪華歌手の出演に、多くの皆さんに喜んでいただきました。

また、鑑賞事業の幅を広げ、鑑賞者の開拓及びリピーターの確保につなげるよう、他団体との共催事業にも積極的に取り組み、出雲メセナ協会との共催で、「出雲メセナ協会 20 周年記念事業 平原綾香コンサート」、演芸を楽しむ会との共催で、古典芸能事業「桂吉弥落語会」、島根県民会館との共催で、ジャワの女性舞踊と影絵からなる「星降る里のガムラン」を実施しました。特に、「平原綾香コンサート」はすばらしい歌唱力に満員の聴衆が感動しました。

自主事業については、2 週にわたって「出雲の春音楽祭 2019」に取り組みました。コンサート形式によるオペラハイライト「愛の妙薬」では、満員の会場は大きな笑いに包まれ盛り上がりました。翌週は、邦楽合奏から始まり、平成 28 年度に始動した委嘱作品《連作交響神楽》の第 4 弾「大穴牟遲」、第 5 弾「鳥遊」のオーケストラ演奏をお届けし、各種イベントが重なった時期にも関わらず、着実な集客を確保しました。

その他、囲碁・将棋フェスティバル、音楽コンクール、新春コンサートなどの事業は、地域の関係者が中心となって組織した実行委員会により着実に取り組みました。様々な経緯により継続している各事業は、アンケートや外部評価等を踏まえ、実施体制の整備や事業の改善を図り、さらなる成果につながるよう努めます。

また、地域の芸術文化における人材育成を目指し、アートマネジメント研修や事業の企画運営に係る実務研修を実施し、マネジメント能力の向上を図りました。

このように事業の企画から研修の実施まで様々な視点から地域の芸術文化振興に取り組んでおり、今後も引き続き常に新しい分野、新しい要素を取り入れながら地域の文化力向上に努める考えです。

① 鑑賞事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料	助成金・雑収入等	負担金
1	ティコボのガラクタ音楽祭 6月3日(日)、平田文化館 次世代鑑賞者育成事業	253人	1,425,986	157,500	625	1,267,861
2	イツフォーリーズ公演 7月8日(日)、大社うらら館 次世代鑑賞者育成事業	324人	4,031,937	649,000	—	3,382,937
3	高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト 10月21日(日)、出雲市民会館	1,071人	6,440,677	5,081,500	4,625	1,354,552
4	NHK 公開収録 「新BS日本のうた」 11月22日(木)、出雲市民会館	1,008人	1,515,530	—	—	1,515,530
5	県内アーティスト発掘公演事業 「星降る里のガムラン」 12月22日(土)、平田文化館 ガムラン演奏、バリ舞踊、影絵等	300人	4,407	—	—	4,407
小計		2,956人	13,418,537	5,888,000	5,250	7,525,287

② 自主事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料・参加料等	助成金・雑収入等	負担金
1	将棋フェスティバル 7月22日(日)、出雲弥生の森 プロ棋士による指導対局、第8回里見香奈杯ジュニア将棋大会 指導棋士：里見香奈女流4冠ほか	参加 108 人 (対局 38 人) (大会 70 人)	442,598	67,200	—	375,398
2	出雲囲碁フェスティバル 8月4日(土)、大社うらら館 親子入門教室、ジュニア指導対局、第16回出雲ジュニア囲碁大会 指導棋士：桑本晋平七段	参加 58 人 (対局 9 人) (大会 49 人)	439,846	29,400	—	410,446
3	第17回いずも音楽コンクール 11月24日(土)、25日(日) ビッグハート出雲 小中学生を対象とした歌唱、弦楽器、ピアノ部門のコンクール	参加 165 人 入場 523 人	842,432	332,000	—	510,432
4	第17回いずも新春コンサート 1月6日(日)、ビッグハート出雲 クラシックを中心に地元出身の音楽家による新春のコンサート	参加 28 人 入場 360 人	454,290	394,600	—	59,690
5	出雲の春音楽祭 2019<Vol.1、2> 3月17日(日)、ビッグハート出雲 オペラハイライト、 3月24日(日)、出雲市民会館 邦楽合奏、交響神楽	参加 24 人 入場 320 人 参加 176 人 入場 780 人	9,261,401	1,632,000	2,925,000 (文化庁)	4,704,401
小計		参加 559 人 入場 1,983 人	11,440,567	2,455,200	2,925,000	6,060,367

③ 共催事業

NO	事業名・概要	観客数等	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	NHK 公開収録「にほんごであそぼ」 スペシャルコンサート in 出雲 8 月 29 日 (水)、カミアリーナ	1,244 人	—	—	—	—
2	第 16 回サウンドフェスタ大心路 9 月 2 日 (日)、ビッグハート出雲 出雲地域で活動する音楽家やダンス チームによるライブ	参加 67 人 入場 228 人	200,000	—	—	200,000
3	第 10 回出雲神在月市民芸術文化の祭典 11 月 4 日 (日)、多伎コミセン 市内の芸術団体が集い、各地域の伝 統芸能や創作芸能を披露	参加 210 人入 場 400 人	1,500,216	—	—	1,500,216
4	平原綾香ライブ with 平原まこと 11 月 10 日 (土)、出雲市民会館 出雲メセナ協会との共催	1,141 人	—	—	—	—
5	桂吉弥 落語会 Vol. 11 3 月 24 日 (日)、大社うらら館 桂吉弥、桂弥っこ、桂歌之助	498 人	—	—	—	—
6	喜多郎スペシャルコンサート 3 月 29 日 (金) 出雲市民会館 古事記と宇宙をテーマに音楽と映像 を上演	598 人	278,285	—	—	278,285
小計		参加 272 人 入場 4,109 人	1,978,501	—	—	1,978,501

④ 展示事業

NO	事業名・概要	参加数等	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	平成 30 年度公募展優秀作品展 3 月 11 日 (月) 出雲市役所 市民応接室 各公募展での優秀作品表彰	17 人	51,605	—	—	51,605
小計		参加 17 人	51,605	—	—	51,605

⑤ 人材育成事業

NO	事業名・概要	参加数等	事業費 (円)	財源内訳 (円)		
				入場料・ 参加料等	助成金・ 雑収入等	負担金
1	アートマネジメント人材育成事業 「オペラ制作コース」 10 月 18 日 (木)、19 日 (金) 出雲市民会館 講師：唐谷裕子	54 人	460,213	5,500	131,000 (文化庁)	323,713
小計		参加 54 人	460,213	5,500	131,000	323,713
全体管理費 (出雲総合芸術文化祭全体管理経費)			2,503,021	—	200,115	2,302,906
合計		9,955 人	29,852,444	8,348,700	3,261,365	18,242,379

(2) 出雲芸術アカデミー事業

出雲芸術アカデミーは、「音楽のまち出雲」の推進に向け、講座運営、演奏会活動、アウトリーチ活動等の事業に積極的に取り組みました。取組に際しては、継続的・安定的に実施できるよう、文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」の助成も活用しながら、推進委員会、企画会、講座運営会議、フィルハーモニー会等において検討協議を重ね、市民が身近に演奏に触れ、親しむ機会の増大を図るとともに、次代の芸術文化の担い手の育成に力を入れました。

一方、子供の習い事の多様化や、就労する保護者の増加に伴う生活環境の変化などから受講生の減少傾向が続いており、講座の新設や無料体験講座の開講、魅力あるプログラムへの改善など対策を講じ、受講生の確保に全力で取り組んでいます。また、毎年開催している「うたなかまコンサート」と「ファミリーコンサート」では、受講生が1年間の学びの集大成を披露しました。

演奏会活動では、出雲フィルハーモニー交響楽団及び出雲 Jr. フィルを中心に5つの演奏会を開催し、それぞれ好評を得ました。このうち、出雲フィルハーモニー交響楽団第22回定期演奏会では、クラリネット奏者のタラス・デムチシン氏（元九州交響楽団首席）によるモーツァルト作曲「クラリネット協奏曲」や、チャイコフスキー作曲「交響曲第4番」等ポピュラーな選曲で、来場者、出演者両方が魅力を感じる演奏を提供することができました。

また、出雲 Jr. フィルは、生誕200年を迎えたフランスの作曲家グノーの曲を中心に、疾風怒濤の時代をテーマにして、ジュニアコーラスとジュニアオーケストラの演奏を、格調高く行いました。

普及啓発事業では、演奏家が直接出向くアウトリーチ活動を市内保育所、幼稚園、小学校及び福祉施設20か所で実施しました。生の演奏に触れていただくことで、日頃、演奏会場へなかなか来場できない方、音楽芸術に接する機会の少ない方の興味、関心を喚起できたものと思います。さらに、初めての企画として、アウトリーチで訪問した先の皆さんにホールに出かけてもらい鑑賞する機会を設けるために「春まちコンサート」を実施しました。

また、市役所ロビーコンサート、依頼による演奏家の紹介及び演奏のコーディネートなどの事業にも積極的に取り組みました。生の演奏を届け、多くの市民の皆さんに楽しんでいただくとともに、アカデミー活動のPRなど広報活動に努めました。

今後も演奏活動を担う「出雲フィル」を核として、人材育成活動の「音楽院」、学術

研究活動の「音楽研究院」が一体となった魅力的な事業を展開し、地域に根ざした芸術文化の振興を図ります。

① 講座（平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月）

科・コース名 講 座 名	対 象	受講者数	回 数	受講料
幼児科・音楽入門（親子）	幼児と保護者	90 人 (45 組)	年間 20～22 回	月 2,000 円
ホップ	3 歳児	16 人 (8 組)		
ステップ	4～5 歳児	50 人 (25 組)		
ジャンプ	6 歳児	24 人 (12 組)		
科・コース名 講 座 名	対 象	受講者数	回 数	受講料
本科		165 人	年間 40～44 回	
音楽入門	小 1～3	18 人		月 2,500 円
合唱	小 4～高 2	36 人		月 2,500 円
オーケストラ	小 1～高 2	111 人		
入門	初心者	25 人		月 5,000 円
オーケストラ	経験者	86 人		月 3,500 円
別科・合唱/(新)パ・ラ/オーケ ストラ/邦楽		142 人		
コーラスレパートリー	18 歳以上	64 人	月 3 回程度	月 2,500 円
アクティング・クワイア		14 人	月 2 回程度	月 2,000 円
オーケストラレパートリー		47 人	月 2 回程度	月 3,000 円
邦楽合奏		17 人	月 1 回程度	月 1,500 円
3 科合計		397 人		
特別講座		2 人		
チェロ体験教室		2 人	月 2 回程度	—
受講者合計		399 人		

② 演奏会等

NO	事業名・概要	観客数等	事業費(円)	財源内訳(円)		
				入場料・参加料等	助成金・支援金等	補助金・自主財源
1	第13回ファミリーコンサート (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:4月15日(日) 内容/本科音楽入門・合唱・オケ、別科合唱による演奏	参加213人 入場570人	1,568,469	604,700	315,000	648,769
2	出雲フィルハーモニー交響楽団 第22回定期演奏会 (会場:出雲市民会館) 開催日:10月14日(日) オーケストラセミナー実施10/12～	参加90人 入場668人	3,310,543	1,088,800	900,000	1,321,743
3	出雲 Jr. フィル 第6回プロムナードコンサート (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:11月11日(日) ジュニア単独コンサート	参加110人 入場417人	1,927,921	644,400	600,000	683,521
4	うたなまこんさーと2019 (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:1月27日(日) 幼児科で学ぶ親子のステージと、講師によるコンサート	参加100人 入場315人	634,340	150,600	—	483,740
5	アウトリーチ 音楽&音楽家の出前2018 会場:市内保育所・幼稚園・小学校、病院・福祉施設等 開催日:9月～2月(講師による演奏を市内の20施設で実施)	参加1042人	718,724	—	426,000	1,190,505
6	アウトリーチコンサート 福来たる!出雲フィルハーモニー 夢いっぱい♪春まちコンサート (会場:大社文化プレイスうらら館) 開催日:2月11日(月・祝) アウトリーチ事業の集大成として出雲フィルハーモニーの音楽家たちによるコンサート	参加24人 入場374人	1,047,781	150,000		
合 計		参加1,579人 入場2,344人	9,207,778	2,638,500	2,241,000	4,328,278

(3) 出雲メセナ協会事務局に関する事務

出雲メセナ協会の事務局として、文化団体への財政支援事業（5 事業）、市内の小学校への芸術家派遣事業（6 事業）等を実施しました。

また、財団と共催で実施した、イツツフォーリーズ公演「ボクたちのうた 手のひらを太陽に」、「高嶋ちさ子 12 人のヴァイオリニスト」では、併せて 401 名の会員の鑑賞がありました。また、前述したとおり、出雲メセナ協会 20 周年記念事業として「平原綾香コンサート」を開催し、会員の参加は 263 名でした。なお、会場ではメセナブースを設置するなど PR に努めました。

平成 30 年 12 月末現在で、会員は 228 会員（581 口）。昨年に比べ、会員は 2 名の増となりましたが、口数は 21 口の減となりました。

2. 博物館事業（出雲文化伝承館・平田本陣記念館）

出雲文化伝承館と平田本陣記念館の博物館事業では（1）展示事業、（2）出雲和文化交流会事業、（3）郷土資料調査活用事業、（4）呈茶事業、（5）文化財保存公開事業を行いました。展示事業では、市民や来館者の皆様に日本や出雲地方の優れた芸術文化、歴史等を紹介し、その他の事業でも伝統文化などに触れていただくとともに、あわせて郷土の魅力を再認識していただくことを目標に事業を行いました。博物館事業により出雲文化伝承館、平田本陣記念館の利用をより推進し、施設を十分に活用するよう努力しました。

展示事業では、出雲文化伝承館では6つの展覧会を開催し、とくに「没後200年 松平不昧」展は好評でした。平田本陣記念館では開館30周年を記念して6つの展覧会を開催し、「マツオヒロミ」展は多くの観覧者がありました。

また出雲和文化交流会事業では、16回目となる「出雲和文化まつり」を伝承館で開催し、出雲市華道連盟、茶道各流派のほか、和文化関連団体と共催して広く和文化の発信と普及に努めました。このたびは骨董市など集客を工夫するとともに、広告協賛を募るなど財源の確保に努め、地域との密接な連携を図りながら事業を推進しました。参加者は約3,000人でした。

郷土資料調査活用事業では、館蔵の古文書を活用するため整理作業を行いました。

呈茶事業では両館で誘客に努め合計5,020人の利用があり、伝統文化の継承、普及に貢献しました。

文化財保存公開事業では、2館の施設について館長等が説明にあたるなど、計2,318人の利用がありました。伝承館では独楽庵についての問い合わせや来館が増え、また本陣記念館は市内小学生対象の民具の解説が好評でした。

【出雲文化伝承館 入館者数】

	開館日数	本館入館者数		
		総数	内個人	内団体
30年度	314日	77,292人	76,413人	879人

【平田本陣記念館 入館者数】

	開館日数	入館者数
30年度	308日	20,097人

(1) 展示事業

出雲文化伝承館では6回、平田本陣記念館で6回の展覧会を開催しました。

伝承館では「現代日本画 巨匠 30 人展」、「山陰 藍の染めと織り」、「多納三勢展」、「没後 200 年 松平不昧」、「私のコレクション展」、「朝鮮陶磁と東南アジアの“やきもの”」(2019 年度継続事業)を開催しました。「没後 200 年 松平不昧」では、芸術文化振興基金より評価され補助金が交付されました。

本陣記念館では「マツオヒロミ展」、「幕末明治の浮世絵探訪展」、「多納三勢展」、「吾郷佳昭 書作展」、「平田本陣展」、「生誕 110 年記念 山川惣治展」(2019 年度継続事業)を開催しました。「多納三勢展」は伝承館、本陣記念館の2館同時開催展として、同氏の画業 50 年を紹介しました。

これらの内容は郷土関係、日本の優れた美術工芸、また大衆芸術など広い分野にわたります。引き続き出雲ゆかりの美術工芸、歴史等の資料調査と研究を進めながら、多彩な展覧会を企画するよう努めます。

また観覧者の意見を反映してリピーターを増やすため、アンケートの実施(伝承館 184 枚・本陣記念館 1,207 枚)や「ご縁カード」(伝承館 回数割引 新規 236 枚)を発行するとともに、ホームページ、フェイスブック(更新 伝承館 176 回・本陣記念館 38 回)などで情報発信するなど集客に努めました。

今後も、博物館事業のミッションと収益のバランスをはかりながら、事業の集中と精選、関連事業の開催などに努め、より魅力ある展示事業に取り組みます。

① 出雲文化伝承館は展覧会を6回開催し、観覧者等の合計 6,039 人でした。

展 覧 会 名 展示内容・関連事業等	会期	観覧者数	観覧料	観覧料収入
「現代日本画 巨匠 30 人展」 東京・佐藤美術館所蔵の片岡珠子、 加山又造、上村松篁、秋野不矩、高 山辰雄など 30 人の巨匠の名品を展 示。	4 月 1 日～ 5 月 13 日 38 日間	809 人 (29 年度 888 人)	一般 800 円 高校生以下	394,800 円
・「花と緑」の寄せ植え教室 飯塚明里氏	4/8	(27 人)	無料	
・「花と緑」の絵手紙教室 板倉慶子氏	4/22	(17 人)	無料	

「山陰 藍の染めと織り」展 山陰と出雲の絣織りと筒描、中型を展示し、郷土の藍染めの素朴な美しさを紹介しました。研究家・村穂久美雄氏のコレクションを中心に約 300 点を展示。	6 月 2 日～ 7 月 8 日 32 日間	722 人	一般 700 円 高校生以下 無料	292,600 円
・ギャラリートーク ①村穂久美雄氏 ②長田茂伸氏	6/3 7/1	(31 人) (50 人)		
「多納三勢展」 平田町に生まれた洋画・多納三勢氏は国画会会員として精力的に活躍しています。氏の 1968 年から 2002 年までの作品 26 点を展示。	7 月 14 日～ 9 月 2 日 45 日間	547 人	一般 600 円 高校生以下 無料	130,450 円
・ギャラリートーク	7/14, 15, 16	(47 人)		
「没後 200 年 松平不昧 一茶と人となり」 没後 200 年を記念し不昧の茶と人となりを多彩な作品、資料で紹介。県内外から協力をいただき 172 点を展示。芸術文化振興基金から助成。	10 月 13 日 ～ 11 月 25 日 38 日間	2,445 人	一般 800 円 高校生以下 無料	1,306,300 円
・記念講演会 ①「不昧と武者小路千家」木津宗詮氏	10/21	42 人		
②「不昧公遺愛の茶室—独楽庵とその周辺」 和田義宥氏	10/28	60 人		
・ギャラリートーク 3 回 副館長	10/14, 11/3. 18	(83 人)		
・蕎麦懷石体験 2 回 日本料理登わ	11/11	(20 人)		
・落語会 春雨や落雷氏、桂伸べえ氏	11/4	45 人		

「私のコレクション展」 愛好家所蔵の郷土美術工芸品の屏風、掛け軸、陶芸、漆芸などの優品 72 点を展示。	1 月 12 日 ～2 月 24 日 40 日間	695 人		
※新春陶芸教室 糸賀正和氏、岡美恵子氏	1/13、2/10	(15 人)	一般 700 円 高校生以下 無料	236,450 円
※掛け軸の取り扱い方教室 学芸員ほか	1/20	(12 人)		
※大人のためのお抹茶のいただき方教室 森山典子氏	2/24	(23 人)		
「朝鮮陶磁と東南アジアの “やきもの”」 不昧も蒐集した朝鮮や東南アジアの陶磁器の代表的な作品を一堂に展示。172 点を紹介。	3 月 21 日～ 31 日 10 日間 (2019 年度継続事業)	674 人	一般 800 円 高校生以下 無料	347,200 円
小 計	203 日	6,039 人		2,707,800 円
その他事業収入 (図録、参加費等)				2,355,368 円
民間補助金				1,713,000 円
合 計 (出雲市負担金以外の収入)				6,776,168 円

※印は自主事業

() は観覧者に含む

出雲文化工房 展示室 (無料)

平野勲 ・塩冶太平記 ・出雲駅伝原画 ほか	314 日間	18,003 人
-----------------------------	--------	----------

② 平田本陣記念館は展覧会を6回を開催し、観覧者等の合計は9,622人でした。

展 覧 会 名 展示内容・関連事業等	会期	観覧者数	観覧料	観覧料収入
「マツオヒロミ展」 松江市出身で岡山を拠点に活躍するイラストレーター マツオヒロミ氏（1980 生れ）の大正ロマン、昭和モダンに影響を受けた叙情画 191 点を展示。	4 月 1 日～ 5 月 6 日 31 日間	5,113 人 (29 年度 308 人)	一般 600 円 高校生以下 無料	1,778,200 円
「幕末明治の浮世絵探訪展」 幕末明治期には 3 枚続きの画面に遠近法や輸入染料が用いられた作品が生まれ、当時の世相を表しています。浅井コレクションから 72 点を紹介。	5 月 12 日～ 7 月 1 日 44 日間	660 人	一般 600 円 高校生以下 無料	274,260 円
・ギャラリートーク 山下伸氏	5/12	(16 人)		
「多納三勢展」 平田町に生まれた洋画・多納三勢氏は国画会会員として精力的に活躍しています。氏の 2003 年から現在までの作品 32 点を展示。	7 月 14 日～ 9 月 2 日 44 日間	473 人	一般 600 円 高校生以下 無料	116,600 円
「吾郷佳昭 書作展」 吾郷佳昭氏（1949 生）は平田に生れ、独立書展で現在高い評価を得ている。すべて新作の 50 点を展示。	9 月 15 日～ 10 月 15 日 26 日間	2,245 人		
・オープニングギャラリートーク 作者	9/15	(105 人)		
・ワークショップ ①大人とこどもの書道教室 ②外国人との書道交流会 ③大人の書道教室 ④特別支援学級交流会	9/16、23、10/6 9/29、10/7 9/20、27、10/4、11 9/26、27、10/3	(171 人)	一般 600 円 高校生以下 無料	628,700 円
・講演会 4 回 ①浅野天童氏②山下壮一氏 ③河瀬法子氏④鳥屋尾敬氏	9/16 23 9/29 10/6	(289 人)		

「平田本陣展」 開館30周年を記念して松江藩歴代藩主の掛け軸をはじめ江戸時代から明治時代の書画等48点を展示。あわせて木佐家文書を整理した一部を展示。	11月3日～ 1月20日 63日間	605人	一般 600円 高校生以下 無料	251,000円
生誕110年記念 「山川惣治展」 「少年王者」「少年ケニヤ」で著名な山川惣治の世界を紹介。戦後の日本に勇気や活力を与えた350点を展示。	2月23日～ 3月31日 32日間 (2019年度継続事業)	526人	一般 600円 高校生以下 無料	182,100円
・ギャラリートーク 山川重治氏	3/10	(45人)		
小計	240日	9,622人		3,230,860円
その他収入(図録、物販手数料等)	1,390,774円			
合 計(出雲市負担金以外の収入)	4,621,634円			

※()は観覧者に含む

(2) 出雲和文化交流会事業

伝承館では、平成14年に和 문화の普及を目的に発足した出雲和文化交流会との共催で第16回目となる出雲和 문화まつり等を開催し、传统文化の普及、発信に取り組みました。引き続き協賛広告収入を得るなど財源確保に努力しました。

①和 문화まつり

事業名	内容・講師等	参加者数
第16回 出雲和 문화まつり 11月24・25日	① 日本舞踊 箏曲・邦楽演奏 ② 伝承館こども箏・日本舞踊教室発表 出雲邦楽邦舞の会 ③ いけばな展 ④ 伝承館こどもいけばな教室作品展示	3,144人

	出雲市華道連盟 ⑤ 呈茶 三斎流・裏千家 ⑥ 和菓子職人になろう 出雲菓子協会 ⑦ そば打ち体験 出雲そばりえの会 ⑧ 着物レンタル&着付けコーナー 出雲呉服専門店会 ⑨ 骨董市 ⑩ 食べ物屋台	
事業収入（参加券）計 （内協賛広告金等 265,000 円）		664,600 円

②和 cultura 講演会

「和歌に詠まれた四季」 冷泉貴実子氏 9月2日 参加無料 200人

（3）郷土資料調査活用事業

両館では館蔵史料を活用するため、古文書等の整理を行いました。とくに本陣記念館では木佐家文書の整理を行いました。30年度は本陣記念館の展示事業「平田本陣展」で一部を紹介しました。当家の資料は多く引き続き事業を進めます。

（4）呈茶事業

おもてなしとお茶の文化が大切にされてきた出雲において、茶道、伝統文化の継承と普及を図るため、伝承館では「松籟亭」で、本陣記念館では「庭園鑑賞ホール」で呈茶事業を行いました。両館とも誘客に努め本年度の利用者は、伝承館では2,545人、本陣記念館では2,475人でした。（呈茶事業収入伝承館 921,040円・本陣記念館 705,200円）伝承館では5月5日の子どもの日に、お抹茶体験の企画をするなど工夫に努め、「松平不昧展」にあわせて、不昧公お好み菓子「千代の珠」との呈茶と、展示とのセット券が好評でした。また本陣記念館ではとくに「マツオヒロミ」展でのセット券が大変人気でした。

（5）文化財保存公開事業

① 文化財保存公開

出雲文化の伝統を象徴する伝承館の「出雲屋敷・出雲流庭園」（出雲市指定文化財）、茶室「松籟亭」と「独楽庵」、また本陣記念館の「御成門・御成座敷」と「出雲流庭園」、茶室「悠々庵」の公開と活用を図っていますが、両館とも開館30年近くを経過して施

設の老朽化が進行しており、年々修繕費が増加しています。館内の建築物や庭園は、一体となった落ち着いたある景観を維持する必要があり、大規模な修繕については引き続き市に要望するとともに、より適正な管理と活用に取り組みます。

② 団体利用

伝承館では県内外高校、専門学校の利用が2回64人で、出雲屋敷・庭園見学、茶室体験等で利用されました。一般は文化サークルや、福祉団体、女性団体、社会教育団体、事業所などの研修会等において館長、副館長、係長などが講師となり19回417人に講話や説明を行いました。

本陣記念館での市内小学校対象の館長による民具解説は好評で、13校(19回)718人の利用がありました。また老人会、社会教育団体、福祉団体など59回、1,119人の利用があり幅広い利用促進に取り組みました。

③ 博物館資料の寄贈

本年度の伝承館への寄贈作品等は1件ありました。(ア)平野勲作 作品88点。

本陣記念館への寄贈は4件でした。(イ)落合朗風作 扁額「花鳥図」1面、(ウ)多納三勢作 「風骨の森(1st)」 1点、(エ)多納三勢作「痕跡の森(AA)」 1展、(オ)小村大雲作 「臥牛」 1幅

近年では郷土の貴重な文化財が破棄され、また流出しています。今後も地域の貴重な史料や美術工芸品などの保護につとめ、あわせて博物館資料を充実させて参ります。

④ 収蔵資料の貸出・特別利用

収蔵品の貸出や特別利用(熟覧、撮影、写真貸出等)等を行い、その適正な活用と管理に努めました。とくに不昧公200年祭の関係で、申請が増えました。

【出雲文化伝承館】

申請日	資料貸出・特別利用	貸出先・調査者等	資料名等
4月7日	撮影、印刷物掲載	ティー・エス・ピー	独楽庵、出雲屋敷、出雲流庭園
4月19日	撮影	NHK松江	独楽庵
4月20日	撮影	NHK	独楽庵
4月21日	写真使用	ハーベスト出版	小林如泥「神狐」[松江城山稻荷神社所蔵]
5月7日	写真使用、印刷物掲載	いき出版局	平野勲「塩冶高貞」
6月7日	写真使用、印刷物掲載	田部美術館	野溝釜、同添軸、同箱書付

6月8日	撮影	NHK	出雲流庭園
6月11日	写真使用、印刷物掲載	松江市 歴史まちづくり部	写真「出雲国之図」
6月22日	撮影	メリット	松籟亭、独楽庵
6月22日	写真使用	鳥取県立公文書館	秦家文書
7月5日	撮影	山陰放送	松籟亭、独楽庵
7月6日	資料貸出、写真使用、印刷物掲載	島根県立古代歴史博物館	木造神像群
11月8日	写真使用、印刷物掲載	出雲市教育委員会	白糸緋鎧（復元）
10月24日	撮影、印刷物掲載	出雲中央図書館	独楽庵
11月29日	資料貸出	加納美術館	細田和子「ふるさと参り」
12月13日	資料貸出	三井記念美術館、龍谷大学、NHKプロモーション	木造神像群
2月25日	写真使用	松江歴史館	八雲塗「鳳凰図衝立」
3月15日	干拓による全身押形採拓	日本美術刀剣保存協会	日御碕遷宮奉納大刀

【平田本陣記念館】

4月4日	写真使用	淡交社	松平宗衍「発句和歌短冊色紙」
4月17日	複写、撮影	日御碕コミュニティーセンター	前原一誠「七言詩」、奥平謙輔「五言詩」
4月24日	撮影	ネクスス	小村大雲「大楠公」

⑤ 収蔵庫等の燻蒸、管理

両館の収蔵庫、展示室等の燻蒸、消毒を行い適正な管理に取り組みました。（伝承館9月、本陣記念館9月・2月）また、トラップによる害虫調査を行い虫害予防に努めました。

⑥ 館外への講師派遣

館外への講師派遣としてロータリークラブ、コミュニティセンター、中央図書館などへ伝承館副館長が計7回出向き約330人へ講話、講演を行い好評でした。不昧公200年祭で派遣要請が増えました。

(6) その他 共催事業等

① 第 27 回早春の茶会

伝承館恒例の茶会で、茶道各流派の共催により開催しました。

事業名	内 容	会 期	参加者数
第 27 回 早春の茶会	伝承館恒例の茶会。三斎流、不 昧流不昧会、表千家、裏千家に よる茶会を開催。伝統文化の正 しい理解と地域文化の振興に努 めた。	3 月 23 日・24 日	1,068 人 (前年度 1,095 人)

3. 貸館事業

(1) 概況

出雲市民会館、ビッグハート出雲、平田文化館、大社文化プレイスうらら館、出雲文化伝承館、平田本陣記念館の6つの文化施設について、出雲市の指定管理者として施設の管理運営を担い、別添(8)貸館事業資料のとおりご利用いただきました。

管理運営にあたっては、利用者とのコミュニケーションを深めながら施設の特性や地域性を活かした貸出し等を提案するなどご要望にお応えし、また、施設設備の老朽化に伴う修繕、改修にも即応しつつ、適切な維持管理に努めてまいりました。

このようななか、平成30年度の貸館事業全体の利用料収入は90,772,368円、前年度比10,491千円余り減少しました。その主な減少要因は、出雲市民会館大ホール耐震改修工事のため、平成30年9月まで大ホールの利用を休止したことなどによるところです。

また、施設の貸出し状況については、大社文化プレイスうらら館が市民会館大ホールの利用休止の影響で、少しばかり利用回数が増加したものの、全体では、市民会館大ホールの利用休止及び平成27年10月からの利用料金改定の影響もあり利用回数合計7,282回、前年度比△125回、1.7%の減、利用人数合計は、285,303人、前年度比△24,840人、8.0%減少しました。

今後、一層利用者ニーズの把握に努め、芸術文化事業の公演情報の早期入手や施設の利用方法の提案などのほか、平成30年度にリニューアルしたホームページ、新たに導入したフェイスブック、ツイッターを活用するなど情報提供を充実させ、多くの皆さんにご利用いただけるよう取り組みます。

なお、市内の中学校、高等学校の吹奏楽部、合唱部などの利用は活発であり、当財団としても、公益財団法人として、学校教育の一環としての利用については施設、設備利用料金の5割を減免し、ご期待にお応えするとともに、「音楽のまち出雲」の推進に大きく貢献しているところです。

それぞれの施設の貸出しの状況については、次の(2)以下に記載するところですが、「貸館事業」としては、芸術文化振興事業及び博物館事業の事業実施舞台として、芸術文化団体等が行う発表会・講演会及び練習等に広く一般市民に貸し出し、芸術文化の振興及び伝統文化の伝承に寄与する「公益目的事業」と営利を目的とする大ホール等の利用や物販等の利用のために貸出しする「収益事業」があります。

その割合は、概ね 8 割が「公益目的事業」、残り 2 割が「収益事業」に分類され、その収支は次の通りです。（公益財団法人認定申請における過去の利用実績分析による。）

貸館事業の収支状況

（単位：円）

区 分		収 入	費 用	収支差額
貸館事業	公益目的事業	251,139,162	261,940,476	△10,801,314
	収 益 事 業	73,973,527	60,821,378	13,152,149
	合 計	325,112,689	322,761,854	2,350,835

(2) 出雲市民会館

出雲市民会館は、耐震改修工事に伴い上半期については大ホールの利用ができませんでしたが、下半期は県内でも有数の高い専門性を備えた劇場として、また出雲市のメインホールとして様々な事業が行われました。当財団が主催しました出雲総合芸術文化祭事業では、幅広い年齢の方にご好評いただいた「高嶋ちさ子と 12 人のヴァイオリニスト」などの会場として、また音楽のまち出雲にふさわしく市内の中学校、高校の吹奏楽部・合唱部、出雲吹奏楽団をはじめ各種楽団の演奏会の会場として、その他コンサート、演劇、式典、講演会、研修会と広くご利用いただきました。

平成 30 年度における利用状況は、利用者数は大ホールが 39,090 人で前年度比△33,482 人、46.1%の減となり、施設全体では、80,034 人となり、同じく△28,894 人、26.5%の減となりました。

また、利用料収入は、27,768 千円で、前年度に比べ 11,556 千円、29.4%の減収となっています。

これは、大ホールが耐震改修工事のため平成 30 年 1 月から 9 月まで利用休止となったこと、工事の騒音が会議室に弊害をもたらす日を特定し、予め貸出しを控える対策をとったことなどが主な要因となっています。

今後は大ホールについて通年での利用が再開しましたので、利用者のニーズを考慮しつつ多くの方にご利用いただけるよう取り組みます。

(3) ビッグハート出雲

ビッグハート出雲では、芸術文化活動の外、様々な団体の会議や研修などに利用していただきました。

平成 30 年度の利用者数は 83,394 人で前年比 1.6%の増加となりました。利用回数は

前年度より約 2.0%減少し 2,997 回となりました。

ここ数年の傾向として黒のスタジオの利用が減少傾向にあります。

最大の施設である白のホールは、利用回数が前年度と同じでしたが、利用人数・利用料金とも前年度を上回りました。

平成 30 年度の事情として、スタッフ控室・練習室系統の空調機故障のため、8 月及び 9 月の 2 か月間、施設利用をお断りしました。そのため当該施設の利用状況は前年度を下回りましたが、施設全体としては概ね前年度並みとなりました。スタッフ控室・練習室は、10 月以降、扇風機やストーブを適宜ご利用いただき、3 月には空調機の更新工事が完了しました。

利用料金は、前年比 0.6%増の約 203 千円増額し、約 32,444 千円となりました。このうち白のホールは、1.2%増の約 188 千円増額となりました。

(自主事業)

自主事業については、平成 30 年度も地域芸術文化活性化事業として実施しました。2 月 23 日・24 日、アートギャラリーを会場として、ビッグハート出雲文化サロン利用登録団体による手芸作品及び演奏を展示する「音と手仕事展 2019」を開催しました。

内容は、日本刺繍、樹脂粘土、絵手紙、パッチワーク及び俳句の作品展示と、樹脂粘土、パッチワークの体験コーナー、そして大正琴、混声合唱、クラリネットアンサンブルの演奏でした。市広報、新聞・チラシを始めとする各種メディアの活用や「ロコミ」により、2 日間で約 440 人の入場者がありました。併せて実施したアンケートにおいても、手芸作品の細やかな手仕事の見事さや、演奏を高く評価するといった意見が多数を占めました。

今後も魅力ある自主事業の実施に努めるとともに、施設、設備器具などの特徴や利用方法の説明など丁寧な対応に努めてまいります。

(4) 平田文化館

平田文化館は地域に根ざした文化交流の場として、コンサート、講演会、展示会及び諸会議等に広く利用いただいております。

また、文化の向上を図るため雲州平田文化協会及び加盟する 19 団体の活動を支援し、文化館を主会場としたイベント等を開催することにより、地域の文化の中核施設としての役割を果たしてまいりました。

平成 30 年度は、舞台照明設備工事のためプラタナスホール（大ホール）を約 2 か月

間使用休止としましたが、一方、ホール、会議室等で新たな利用増があったことなどから、利用回数は前年度比 22.9%の増、利用者数も同 13.0%の増となりました。

また、文化館全体の利用料収入は 8,059 千円で、前年度比 949 千円、13.3%の増となりました。

今後とも、座席を収納すればフラットなスペースになるなど多目的に利用できるプラタナスホールの特徴を活かすとともに、利用者の皆様方の意見も取り入れながら、更なる利用の促進に努めてまいります。

(5) 大社文化プレイスうらら館

600 席のだんだんホール及び 200 人の収容が可能なごえんホールを有する市内の中規模文化施設として、また、大社図書館との複合施設という特徴も活かした地域の文化活動の拠点として多くの皆様にご利用いただきました。

また、各種文化団体が実施する「たいしゃ芸術文化祭」の開催を支援し、大社地域における芸術文化の水準を高め、様々な活動への住民参加を促すよう努めてまいりました。

本年度は、平成 30 年 9 月までの出雲市民会館大ホール利用休止の影響により当館の上期利用が増加したこともあり、前年度と比較すると利用回数、利用者数ともに増加となりました。

利用回数は、だんだんホールが 168 回で前年度比 9 回の増、全体では 990 回で 44 回の増となり、利用者数は、だんだんホールが 37,786 人で前年度比 2,229 人の増、全体では 47,967 人で前年度比 3,057 人の増となりました。

また、利用料金収入についても 17,014 千円と前年度より 450 千円増収となりました。

今後も、利用にあたってのご意見等を参考に業務改善を重ね、多くの皆様に満足してご利用いただけるよう努めてまいります。

(6) 出雲文化伝承館

出雲文化伝承館では、縁結び交流館をはじめ出雲文化工房、出雲屋敷、出雲流庭園、茶室「松籟亭」、4 月から貸出施設となった茶室「独楽庵」など、それぞれが持つ多様な特色を活かした施設の利用促進に努めました。

平成 30 年度は、前年度に比べ、貸出回数は 99 回減少し合計 1,019 回で、利用料金収入は 525 千円減の 5,092 千円で 9.3%の減収となりました。

減収となった主な要因は、出雲屋敷と縁結び交流館の利用回数の減と、それに伴う利用料金収入の減少が主な内容です。

また、貸出施設の利用者の総数は30,777人で前年度比5,545人の減少となりました。

出雲屋敷については、4月に発生した地震により、北座敷と南座敷を2回に分けて修繕を行ったことにより、使用できない期間が長期となったことが減少の要因となっています。縁結び交流館については、これまで定期利用してこられた複数の団体が活動の中止、縮小をされるなどの状況がありました。

一方、4月から貸出施設となった「独楽庵」は2回の利用となりましたが、「没後200年 松平不昧公 茶と人となり」展の影響もあり、次年度の利用に向けての問い合わせや見学も多数ありました。また、近年、文化工房内の陶芸窯の利用も増加しています。

今後も利用者の減少が懸念されるため、引き続きホームページやフェイスブックを活用して積極的な情報発信に努めます。また、これまで以上に丁寧な対応・説明を心がけ引き続きお客様に気持ちよく利用いただけるよう、また、多様な施設の特色を活かした利用方法の提案を行うなどして新たなお客様を増やすよう努めてまいります。

（自主事業）

出雲文化伝承館では9のこども教室を開催し、あわせて幼稚園へ邦楽邦舞「ミニ鑑賞会」のアウトリーチを2か所で行いそれぞれ好評でした。大人対象では6つの講座等を開催し伝統文化の継承、芸術文化振興を図りました。なお出雲市文化協会より助成金をいただくなど財源確保に努力しました。

《教室・講座》

① こども教室

普段触れることが少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に9の体験教室等を開催し、計577人の参加者がありました。

とくに通年教室の「こども和文化クラブ」では、保護者参加の合同修了式を3月に行い、それぞれが一年間の成果を披露して好評でした。

② 文化講座（一般対象）

絵画教室など6つの講座等を開催し、計134人の参加者がありました。

① こども教室

ア【こども和文化クラブ】

	教室名	実施日	生徒数	参加費（円）	講師等
1	こども箏教室	月2回	10	2,500	出雲邦楽邦舞の会
2	こども日本舞踊教室	月2回	3	2,500	出雲邦楽邦舞の会

3	こども茶道教室	月 2 回	12	2,500	三斎流
4	こども生花教室	月 1 回	14	1,500	出雲市華道連盟 池坊
	合計		39 (延べ 358)	720,500	

イ【夏休み等のこども教室】

	教室名	実施日	生徒数	参加費 (円)	講師等
1	水彩画教室 低学年	7 月 28 日	22	500	金築秀俊氏 春日美由紀氏 房野伸枝氏
	水彩画教室 高学年	〃	21	700	
2	箏、日本舞踊体験 教室	7 月 25 日 26 日	2	500	出雲邦楽邦舞の会
3	やきもの教室	7 月 22 日	23	1,000	糸賀正和氏 岡美恵子氏
	やきもの教室 (親子)	8 月 5 日	21	1,000	
4	学校茶道合同茶会	12 月 10 日	生徒 80	無料	裏千家
			一般 37	500	
5	いけばな教室	12 月 16 日	13	1,200	出雲市華道連盟小原流
	合計		219	104,800	

※和菓子づくり、お抹茶体験教室は台風のため中止

ウ【幼稚園訪問ミニ鑑賞会】

	実施幼稚園	実施日	人数	参加費	講師等
1	中央保育園・幼稚園	2 月 19 日	136	無料	出雲邦楽邦舞の会
2	古志幼稚園	2 月 19 日	24	無料	出雲邦楽邦舞の会
	合計		160		

② 文化講座（一般対象）

	講座名	実施日	人数	参加費	講師等
1	出雲流庭園文化講座	5月27日	26	300	島根県技術士会
2	出雲流庭園文化講座	6月24日	29	300	島根県技術士会
3	絵画教室	6月25日	一般25 高校生 以下4	1,500 ※高校生以下 無料	出雲市洋画連盟委員
4	陶芸教室	1月13日 2月10日 2回	15	1,500	糸賀正和氏 岡美恵子氏
5	掛軸の取り扱い方教室	1月20日	12	700	出雲文化伝承館職員
6	お抹茶のいただき方教室	2月24日	23	1,000	森山典子氏
	合計		134	107,900	

※文化講座アンケート164枚

参加費 合計	933,200 円
民間補助金	100,000 円
雑収入	5,629 円
自主事業収入合計	1,038,829

③ 共催事業

・夏井いつき 句会ライブin出雲 8月5日 337人 主催 大社町俳句協会

(7) 平田本陣記念館

平田本陣記念館の貸館について、本館・展示館・茶室などそれぞれの施設の特色を活かした活用を図るべく、施設の利用促進に努めました。貸館事業入館者数は3,778人で前年度比733人の24%の増でしたが、利用料収入については393,877円で前年度比12,028円の3%の減となりました。貸館事業入館者数は前年度と比較し増加しましたが、利用料金は減収でした。

利用料金減収の要因として、本館での茶会等の開催がなかったことや茶室での占用回

数が少なかったことが考えられます。

しかしながら、全体的な総入館者数は、20,097人で前年度に比べ1,473人の増となりました。

更に多くの方に施設利用していただくために、引き続きフェイスブックやツイッター等を活用し、積極的に情報発信してまいります。また、様々な催し物に使用していただくために丁寧な接客や対応に努めるとともに施設利用方法の創意工夫を図ってまいります。

（自主事業）

① こども教室

普段触れることが少ない伝統文化や芸術文化を楽しく学び、関心を深めることを目的に4つの体験教室を開催し、60人の参加がありました。教室をきっかけとして記念館に初めて来館された方もあり、教室、展示、建物を楽しんでもらって、好評を得ました。

② 文化講座（一般対象）

茶道・掛軸教室では、今回参加者を少人数に絞り込み、講師の先生が参加者一人一人丁寧に繰り返し教えていただけるように企画しました。その結果、参加者から有意義な講座であったとか次回は知人にも呼びかけたいとの感想をいただきました。

①こども教室、②文化講座（一般対象）集計

教 室 名	参 加 者	講 師	参加費	備 考
①カレー皿絵付け教室	1回 25人	岩佐昌昭氏	1,200円	
①書道教室	1回 13人	吾郷佳昭氏	500円	
①親子茶道教室	1回 8人	吉田久里氏	500円	
①親子いけばな教室	1回 14人	堀江美智子氏	1,200円	
②茶道教室	1回 6人	吉田久里氏	500円	
②掛軸教室	2回 15人	博物館事業部次長他	500円	
計	81人			
参加費 合計				89,800円
自主事業収入 合計				89,800円

(8)貸館事業資料

出雲市民会館

平成30年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較
大ホール	76	155	△ 79	39,090	72,572	△ 33,482	10,587,071	21,384,522	△ 10,797,451
楽屋	218	335	△ 117				661,007	1,361,684	△ 700,677
展示室	54	52	2	3,204	1,694	1,510	1,627,973	1,495,491	132,482
202多目的室	146	181	△ 35	3,124	3,488	△ 364	1,811,820	2,324,647	△ 512,827
301会議室	227	206	21	16,159	14,676	1,483	6,116,667	5,599,344	517,323
302研修室	235	237	△ 2	7,725	7,744	△ 19	2,494,409	2,384,863	109,546
303研修室	165	173	△ 8	959	976	△ 17	751,630	893,226	△ 141,596
304学習室	254	217	37	4,954	3,895	1,059	1,995,291	2,132,997	△ 137,706
305学習室	269	265	4	4,819	3,883	936	1,721,870	1,747,063	△ 25,193
合計	1,644	1,821	△ 177	80,034	108,928	△ 28,894	27,767,738	39,323,837	△ 11,556,099

平成30年度大ホール月別催し物開催数

(単位＝回)

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会他							7	5	4	3		1	20	37
発表会 (吹奏楽、合唱他)							3	6	8		3	2	22	35
コンクール (吹奏楽、合唱他)													0	4
コンサート (歌謡、ポップス、演歌他)							1	6				2	9	11
コンサート (クラシック)							4		2			5	11	9
伝統芸能、古典、舞踏他													0	9
演劇、ショー、映画							1	1				2	4	4
練習								4	3		1	2	10	46
その他													0	0
合計	0	0	0	0	0	0	16	22	17	3	4	14	76	155
休館日(日)	0	0	0	0	0	0	1	1	4	4	1	1	12	15
工事等(日)	30	31	30	31	31	30	0	0	0	0	0	0	183	87
稼働日数(日)	0	0	0	0	0	0	16	22	15	3	4	14	74	143
稼働率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	53.3%	75.9%	55.6%	11.1%	14.8%	46.7%	43.5%	54.4%

ビッグハート出雲

平成30年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較
白のホール	203	203	0	29,953	29,744	209	12,465,896	12,312,511	153,385
控室	332	315	17				703,778	696,232	7,546
アートギャラリー	80	74	6	6,813	5,376	1,437	1,966,677	1,946,478	20,199
茶のスタジオ	346	346	0	15,589	15,627	△ 38	5,346,200	5,336,060	10,140
黒のスタジオ	188	214	△ 26	8,347	8,784	△ 437	3,222,772	3,489,762	△ 266,990
スタッフ控室	273	301	△ 28	1,698	1,939	△ 241	1,123,120	1,249,039	△ 125,919
会議室	400	390	10	6,491	6,161	330	2,524,827	2,373,947	150,880
レセプションスペース	232	204	28	6,835	6,502	333	2,028,634	1,909,465	119,169
練習室	416	495	△ 79	950	1,374	△ 424	482,547	626,337	△ 143,790
文化サロン	275	272	3	4,920	4,812	108	947,364	836,253	111,111
応接室	252	245	7	1,798	1,779	19	1,632,669	1,465,525	167,144
合計	2,997	3,059	△ 62	83,394	82,098	1,296	32,444,484	32,241,609	202,875

平成30年度白のホール月別催し物開催数

（単位＝回）

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他	4	4	5	9	5	9	8	10	2	3	4	4	67	65
発表会 （吹奏楽、合唱他）	8	1	2	5		1	1	3	6	6	6	8	47	45
コンクール （吹奏楽、合唱他）					1		3	3					7	6
コンサート （歌謡、ポップス、演歌他）	1	2	1		3	3	3			2	2		17	14
コンサート （クラシック）		3	1	1	1	4			4	4		5	23	19
伝統芸能、古典、舞踏 他	1	2			1		2		2				8	12
演劇、ショー、映画		1			2			1	2				6	8
練習			1	7	9		3		4	2	1	1	28	34
その他													0	0
合 計	14	13	10	22	22	17	20	17	20	17	13	18	203	203
開館日数（日）	29	30	29	30	30	29	30	29	27	27	27	30	347	348
休館日（日）	1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	1	1	18	17
工事等（日）													0	0
稼働日数（日）	14	13	9	20	18	15	16	15	19	15	11	17	182	195
稼働率	48%	43%	31%	67%	60%	52%	53%	52%	70%	56%	41%	57%	52%	56%

平田文化館

平成30年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較
プラタナスホール	104	86	18	26,324	23,307	3,017	4,847,015	4,319,499	527,516
小ホール	88	83	5	6,209	6,294	△ 85	1,363,378	1,245,486	117,892
会議室1	78	65	13	2,679	1,703	976	726,434	572,165	154,269
会議室2	51	52	△ 1	2,368	2,162	206	471,811	485,788	△ 13,977
和室1	46	51	△ 5	502	566	△ 64	175,680	211,984	△ 36,304
和室2	51	36	15	857	583	274	228,043	151,314	76,729
応接室	92	42	50	414	225	189	246,736	124,376	122,360
合計	510	415	95	39,353	34,840	4,513	8,059,097	7,110,612	948,485

平成30年度プラタナスホール月別催し物開催数

（単位：回）

区分 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他	2	5	5	7		6	4	3	2	1		1	36	31
発表会 （吹奏楽、合唱他）				1	2	2	2	2					9	8
コンクール （吹奏楽、合唱他）													0	0
コンサート （歌謡、ポップス、演歌他）	1	1	1				4	6	2	2		2	19	19
コンサート （クラシック）													0	0
伝統芸能、古典、舞踏 他							2	1	2				5	4
演劇、ショー、映画			1					1					2	1
練習			1	4	10	1	1		2			1	20	11
その他			4		2		1	1	5				13	12
合 計	3	6	12	12	14	9	14	14	13	3	0	4	104	86
開館日数（日）	26	26	26	26	27	26	26	26	24	10	0	15	258	308
休館日（日）	4	5	4	5	4	4	5	4	7	7	4	4	57	57
工事等（日）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	24	12	50	0
稼働日数（日）	3	6	11	11	14	9	14	12	13	3	0	4	100	85
稼働率	12%	23%	42%	42%	52%	35%	54%	46%	54%	30%	—	27%	39%	28%

大社文化プレイスうらら館

平成30年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

	利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較
だんだんホール	168	159	9	37,786	35,557	2,229	11,230,212	11,121,029	109,183
楽屋	362	376	△ 14				733,839	775,395	△ 41,556
ごえんホール	139	135	4	7,245	7,081	164	3,379,935	3,164,471	215,464
第1会議室	140	122	18	2,305	1,889	416	618,223	580,057	38,166
第2会議室	106	91	15	156	170	△ 14	506,303	435,967	70,336
第3会議室	73	63	10	435	213	222	541,657	487,121	54,536
だんだんテラス他	2	0	2	40	0	40	4,799	0	4,799
合計	990	946	44	47,967	44,910	3,057	17,014,968	16,564,040	450,928

* 第1会議室、第2会議室を同時に利用された場合の利用人数は、第1会議室に計上しています。

平成30年度だんだんホール月別催し物開催数

（単位＝回）

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度
会議、大会、講演会 他	3	6	8		2	2	3	4	2		2	4	36	32
発表会 （吹奏楽、合唱他）	5	4	3	5	3	2	6	4	7	6	1	4	50	49
コンクール （吹奏楽、合唱他）											2		2	0
コンサート （歌謡、ポップス、演歌他）						1							1	1
コンサート （クラシック）			2				1		3		2		8	13
伝統芸能、古典、舞踏他					2			2		1	2	1	8	7
演劇、ショー、映画		1	2	4			1			3			11	14
作品展示													0	0
練習	3	1	6	9	22	2	2		3	1	1	1	51	42
その他							1						1	1
合 計	11	12	21	18	29	7	14	10	15	11	10	10	168	159
開館日数（日）	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308	308
休館日（日）	4	5	4	5	4	4	5	4	7	7	4	4	57	57
工事等（日）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
稼働日数（日）	9	12	18	15	21	7	13	10	13	10	9	10	147	140
稼働率	35%	46%	69%	58%	78%	27%	50%	38%	54%	42%	38%	37%	48%	45%

出雲文化伝承館

平成30年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

		利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
		H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較
出雲屋敷		45	70	△ 25	2,577	5,972	△ 3,395	304,265	692,297	△ 388,032
出雲流庭園		198	216	△ 18	2,519	2,686	△ 167	448,321	475,964	△ 27,643
松籟亭		56	63	△ 7	3,312	4,153	△ 841	408,917	367,119	41,798
独楽庵		2	0	2	10	0	10	14,565	0	14,565
本館展示室		0	0	0	0	0	0	0	0	0
文化工房	陶芸窯	64	55	9	638	652	△ 14	216,000	172,800	43,200
	実習室	106	131	△ 25	1,333	1,599	△ 266	180,912	268,969	△ 88,057
縁結び交流館		548	583	△ 35	20,388	21,260	△ 872	3,519,224	3,639,818	△ 120,594
合計		1,019	1,118	△ 99	30,777	36,322	△ 5,545	5,092,204	5,616,967	△ 524,763

主な施設貸出例	
出雲屋敷	茶会、こども和文化教室、結婚披露宴(出雲祝言)ほか
出雲流庭園	婚礼、七五三など前撮
松籟亭	茶会、香会ほか
文化工房	陶芸、そば打ち、書道、学習会、こども和文化教室ほか
縁結び交流館	作品展覧会、ダンス、音楽会、吹奏楽練習、大会、研修、講演会、着物展示会ほか

平田本陣記念館

平成30年度年間利用回数・利用人数・利用料金の状況

		利用回数（回）			利用人数（人）			利用料金（円）		
		H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較	H30年度	H29年度	比較
本館		17	4	13	283	226	57	87,500	101,616	△ 14,116
展示館		19	7	12	3,110	2,244	866	157,357	157,696	△ 339
茶室		43	22	21	197	435	△ 238	85,050	91,500	△ 6,450
撮影		43	15	28	188	140	48	8,600	3,000	5,600
設備器具貸出のみ				0			0	55,370	52,093	3,277
合計		122	48	74	3,778	3,045	733	393,877	405,905	△ 12,028

主な施設貸出例	
本館	研修会、TV番組収録
展示館	美術展、作品展
茶室	茶会、研修会
撮影	婚礼など前撮り
器具貸出	平田地区コミュニティセンター等パネル貸出

Ⅲ 収益事業

1. 貸館事業

収益事業に係る貸館については、営利を目的とするホールの利用や、物販等のための利用であり、その概況や施設別の状況は、Ⅱ公益目的事業 3. 貸館事業において一括して記載しています。

2. その他事業

(1) 物販事業

ア、平田本陣記念館

利用促進、来店記念のため受託物販売や図録等を販売し、売上は 43,236 円となりました。

イ、大社文化プレイスうらら館

貸館利用促進のため、切手類を販売し、売上は 269,390 円となりました。

(2) 大社図書館管理事業

出雲市立大社図書館は、大社文化プレイスうらら館との合築、複合施設であることから、その施設管理について、施設・設備管理、警備等の業務の一括管理や光熱水費、損害賠償保険料などの一括支払い、消耗品の交換・補充等を受託し、費用は、面積に応じて受託費として収入に計上しております。

Ⅳ 理事会及び評議員会の開催状況

〈第 23 回理事会（書面表決）〉

開催年月日：平成 30 年(2018)4 月 1 日(日)

1. 議題

- (1)第 1 号議案 事務局長承認の件

〈第 24 回理事会〉

開催年月日：平成 30 年(2018)5 月 7 日(月)

開催場所：出雲市民会館 302 研修室

1. 議題

- (1)第 1 号議案 平成 29 年度(2017)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告の承認について
- (2)第 2 号議案 平成 29 年度(2017)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算（貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録）の承認について
- (3)第 3 号議案 平成 30 年度(2018)定時評議員会の開催について
- (4)第 4 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団副理事長の選定について
- (5)第 5 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団常務理事の選定について

2. 報告事項

- (1)評議員辞任に伴う後任の評議員の選任について
- (2)理事欠員に伴う理事の選任について
- (3)理事辞任に伴う後任の理事の選任について
- (4)監事欠員に伴う監事の選任について
- (5)財団事務局規程の一部改正について
- (6)財団職員体制について

〈第 25 回理事会〉

開催年月日：平成 30 年(2018)8 月 24 日（金）

開催場所：ビッグハート出雲 黒のスタジオ

1. 議題

- (1)第 1 号議案 平成 30 年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算（第 1 号）

2. 報告事項

- (1)代表理事（理事長）報告
- (2)業務執行理事（常務理事）報告

〈第 2 6 回理事会〉

開催年月日：平成 31 年(2019)2 月 22 日（金）

開催場所：出雲市民会館 3 0 2 会議室

1. 議題

- (1) 第 1 号議案 平成 3 1 年度(2019) 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画
- (2) 第 2 号議案 平成 3 1 年度(2019) 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
- (3) 第 3 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団職員等就業規則の一部を改正する規則
- (4) 第 4 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正する規則
- (5) 第 5 号議案 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団給与規則の一部を改正する規則

2. 報告事項

- (1) 代表理事（理事長）報告
- (2) 業務執行理事（常務理事）報告
- (3) 職員の異動について

〈平成 3 0 年度定時評議員会（第 8 回評議員会）〉

開催年月日：平成 30 年(2018)5 月 22 日(火)

開催場所：出雲市民会館 3 0 2 研修室

1. 報告事項

- (1) 平成 2 9 年度(2017) 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業報告について

2. 議題

- (1) 第 1 号議案 平成 2 9 年度(2017) 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支決算（正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録）の承認について
- (2) 第 2 号議案 評議員辞任に伴う後任の評議員の選任について
- (3) 第 3 号議案 理事欠員に伴う理事の選任について
- (4) 第 4 号議案 理事辞任に伴う後任の理事の選任について
- (5) 第 5 号議案 監事欠員に伴う監事の選任について

3. 一般報告事項

- (1) 第 2 2 回理事会決議（平成 3 0 年 2 月 2 6 日）の報告について
 - ① 平成 2 9 年度(2017) 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算（第 2 号）
 - ② 平成 2 9 年度(2017) 特定費用準備資金の設定について（出雲 jr. フィル・地域

間交流演奏会)

- ③ 平成30年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団事業計画
 - ④ 平成30年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支予算
 - ⑤ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団給与規則の一部を改正する規則
 - ⑥ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団準職員等就業規則の一部を改正する規則
 - ⑦ 公益財団法人出雲市芸術文化振興財団育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則
- (2) 第23回理事会決議(書面表決、平成30年4月1日)の報告について
- ① 事務局長承認の件について
- (3) 出雲文化伝承館 茶室「独楽庵」の新規貸出について
- (4) 財団職員体制について

〈第7回評議員・役員合同会〉

開催年月日：平成30年(2018)8月24日(金)

開催場所：ビッグハート出雲 茶のスタジオ

1. 報告事項

- (1) 平成30年度(2018)公益財団法人出雲市芸術文化振興財団収支補正予算(第1号)
- (2) 事業進捗状況の報告等
 - ① 博物館事業の進捗状況及び「没後200年 松平不昧一茶と人となり」について
 - ② 芸術文化事業の進捗状況及び出雲芸術アカデミー事業について

平成30年度公益財団法人出雲市芸術文化振興財団組織図(平成30年6月1日現在)

理事会は理事13名、監事2名、評議員会は11名で構成しています。職員体制は、職員26名、管理業務指導員1名、音楽教育指導員1名、専門員1名、準職員・臨時職員等16名の計45名です。

